

淡路島地域公共交通調査等業務 特記仕様書

1. 業務名

淡路島地域公共交通調査等業務

2. 業務目的

本業務は、淡路島全域（洲本市・南あわじ市・淡路市）を一つの交通圏として捉え、人口減少・高齢化・運転手不足等の課題に対応する持続可能な地域公共交通ネットワークを構築することを目的とする。

特に、GPS、人流データ、GTFS、ICカードデータ、タクシープローブデータ等を活用したEBPMに基づき、広域交通ネットワークの再編、交通空白地対策、観光交通・医療交通・教育交通との連携、本州・四国を結ぶ広域交通結節点としての役割や、高速バス依存型交通構造、観光需要変動、島嶼地域特有の交通課題を踏まえた交通体系構築を行う。

本業務は単なる調査業務ではなく、淡路島地域における持続可能な地域公共交通ネットワークの社会実装に向けた具体的な実行計画の策定及び「淡路島型ハブ&スポーク交通モデル」の構築を目的とする。

3. 履行期間

1年目 契約の締結日から令和9年3月19日まで

2年目 契約の締結日から令和10年3月17日まで（予定）

3年目 契約の締結日から令和11年3月16日まで（予定）

※本業務は3カ年での業務実施を予定しています。契約は単年度毎とし、2カ年目以降は1カ年目の単年度契約に選定された事業者との1者随意契約を締結することを基本としますが、確約するものではありません。

4. 事業費上限額

各年度で次の金額を上限とする。

【内訳（消費税及び地方消費税を含む）】

令和8年度	8,855,000円
令和9年度	6,326,000円（予定）
令和10年度	4,819,000円（予定）
3カ年合計	20,000,000円

この金額は、契約時の予定価格を示すものではなく、提案内容の規模を示すものです。

5. 業務内容（1年目）

(1) 計画書作成及び進捗管理

本業務における全体工程、作業内容、関係者の役割分担等をまとめた計画書を作成し、進捗管理を行う。

(2) 淡路島内における関係者が抱える課題の抽出

淡路島内における既存の公共交通等の分析や、市や関係交通事業者に対して、アンケート等を行うことにより、地域における交通課題を抽出すること。ヒアリングをする際は現地を2～3回訪問し、対面で意見を聴取すること。アンケート等により洗い出した課題は、資料として分かりやすく整理すること。

(3) 分析に必要なデータの検討

上記(2)を踏まえ、本業務の目的の達成に必要なとなるデータの種類の検討し、交通事業者等から取得するデータの選定を行うこと。

※必要となるデータの例

(ア) 取得、分析するモビリティデータの特定

(イ) 交通モード別の利用実績、ODデータ（起終点データ）の分析

(4) データの取得・加工

データを保有する事業者に対し、業務の目的、データの活用方法、取扱い方法等必要な事項を説明の上、業務目的達成のために必要となるデータの詳細を事業者と調整し、データを取得すること。なお、本業務の目的の達成に必要なとなる運行データ等を事業者が保有していない場合は、受注者において、実地調査等の方法により計測・集計等を行い、必要なデータを取得することとする。

(5) 実態調査

上記(2)から(4)を踏まえ、淡路島内の3市や交通事業者等に対して、ヒアリング等（現地にて3～4回）を実施すること。

(6) データの分析、可視化

QGIS（地理情報システム）やBI ツール等を活用し、取得（交通事業者から提供されるバスロケーションシステムのデータ、交通事業者がアナログでカウントする数値データ）・加工済のモビリティデータ、人流データ、住民移動ニーズに係るデータ、その他分析に必要なデータ及び市等が保有するデータを組み合わせ集計・分析し、可視化する。分析結果の提示にあたっては、活用したデータを具体的に明示した上で、集計方法や分析の考え方、結果が示されるまでの過程等を分かりやすく示すこと。

※分析する項目の例

(ア) 移動の出発地・目的地の分布状況の把握

(イ) 移動者の時間別利用状況の把握

(ウ) 交通空白の実態

(エ) 交通サービスの供給と住民移動ニーズのギャップ

(オ) 各交通モード間の結節（乗り継ぎ等）状況の整理

(7) データを用いた施策検討の支援

調査結果を踏まえ、各市の交通課題を解決する施策等を提案すること。また、課題解決にあたっては、市域を跨ぎ広域的に検討すべきものも併せて提案すること。

(8) 3市職員を対象とした講習等の開催（1回以上）

(9) その他

(ア) 本業務において受託者が参加した関係者との協議については、協議概要案を作成のうえ、当該協議参加者に内容確認を行い、内容を確定させること。

- (イ) 受託者は、業務効果を高めるため地域公共交通や交通工学等の分野において研究実績のある有識者等への意見聴取を3回程度行い、聴取内容を参考に本業務の遂行にあたること。
- (ウ) 本業務の効果を高める取り組みがあれば提案すること。
- (エ) 本業務に関し、受託者が各市から受領し、又は閲覧した資料等は、市の了解なく公表し、又は使用してはならない。また、本業務に関し、本業務で知り得た市の業務上の秘密を保持しなければならない。

6. 工程表

本業務における3カ年を通じた、調査・分析・合意形成・計画策定・実証検討を段階的に実施することを目的として整理したものを示す。

あくまで3カ年の想定工程表であり、受託者との協議を経て項目・内容の変更もあり得る。

令和8年度（1年目）

項目	内容
現況整理	人口、交通、観光、医療、教育等データ整理
人流分析	GPSデータ等を活用した広域人流分析
交通データ統合	GTFS、IC、OD、タクシーデータ統合
ハブ拠点分析	13ハブ拠点の接続分析
課題抽出	交通空白、接続不備、運転手不足等整理
住民・事業者調査	アンケート・ヒアリング実施

令和9年度（2年目） 想定工程表であり、受託者との協議を経て項目・内容の変更もあり得る。

項目	内容
交通再編シミュレーション	ハブ&スポーク再編案検討
モータートランスポート	ライドシェア、デマンド交通等検討
観光交通検討	観光送迎共同化、一般混載検討
医療交通検討	通院支援交通、福祉送迎共同化検討
教育交通検討	通学交通・部活動移動支援検討
KPI整理	評価指標設定
分科会開催	医療、教育、観光分科会実施
中間とりまとめ	広域再編方針整理

令和10年度（3年目） 想定工程表であり、受託者との協議を経て項目・内容の変更もあり得る。

項目	内容
最終再編案策定	交通ネットワーク最終案整理
地域公共交通計画策定	計画書作成

PDCA設計	継続評価体制整理
実証運行検討	実証候補事業整理
交通空白対策整理	要モニタリング地区対応
事業者連携整理	共同経営・共同運行整理
最終協議	関係者合意形成
成果品作成	報告書・電子データ納品

7. 納品物

(1) 実施報告書

紙媒体：A4縦（カラー印刷） 5部

電子媒体：Word、Excel、PDF形式

(2) 納品場所

淡路島地域公共交通活性化協議会 事務局

（兵庫県南あわじ市交通政策課）

8. 特記事項

委託業務契約書及びこの仕様書に記載のない事項については、受託者と淡路島地域公共交通活性化協議会事務局が協議し、決定する。